

artesia

PE-88






Owner's Manual

安全上のご注意

この「安全上のご注意」に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者または他の人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前に必ずよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、本書をいつでも確認できる場所に大切に保管してください。


■ 記号表示について


この「安全上のご注意」や取扱説明書、製品に表示されている記号の意味は、下記のようになっています。


 警告	この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示は、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
	この記号は「～にご注意ください」という注意喚起を示しております。
	この記号は「～しないでください」という禁止行為を示しております。
	この記号は「必ず実行してください」という強制行為を示しております。


警告


■ 電源・電源コード


 **電源は必ず AC100V のコンセントを使用してください。**
上記以外のコンセントでの使用は、火災や感電の原因となる恐れがあります。ご使用前に必ずご確認ください。

 **電源コードは必ず付属のものを使用してください。**
他の電源コードを使用すると、感電や発熱の原因となる恐れがあります。


 **電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重いものをのせたり、熱器具の近くで使用しないでください。**
電源コードが破損し、火災や感電の原因となる恐れがあります。


 **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
電源コードが破損して、火災や感電の原因となる恐れがあります。必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。

 **煙や臭いなど、異常に気づいた場合**
火災や感電、故障の恐れがありますので、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。


 **長時間使用しない時や落雷の恐れがある場合は、電源プラグを抜いてください。**
火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。

■ 水に注意

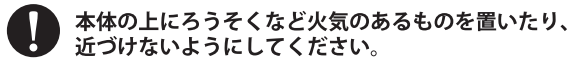
 **本体の上に花瓶などの液体が入ったものを置かない。また、浴室や雨にぬれるなど多湿な場所で使用しないでください。**
万一、本体の内部に水が入ってしまった場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

 **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**
感電の原因となる恐れがあります。

■ 分解・改造はしない

 **この製品の分解・改造はしないでください。**
感電、火災、けが、破損や故障の原因となる恐れがあります。

❑ 火気厳禁



本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置いたり、近づけないようにしてください。

火災の原因となる恐れがあります。

❑ 落下などの破損



破損した状態での使用はお止めください。

本体が落下したときなど、一部が破損した状態で使用すると、火災や感電の原因となる恐れがあります。直ちに使用を中止し、お買い求め頂いた店舗またはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

❑ 危険な行為



小さい部品を飲み込む、梱包材(ビニール等)で遊ぶなどの行為は絶対にお止めください。

梱包材の段ボールで遊んだり、ビニール袋をかぶるなどの行為はケガや窒息の原因となる恐れがあります。特に小さなお子様のネジなどの部品の誤飲にはご注意ください。



本体やスタンドの上に乗る、揺らすなどの行為はお止めください。

本体やスタンドが倒れて、ケガをする恐れがあります。また、本体周辺で遊ぶなどの行為は危険ですので、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

※市販の電子ピアノ用スタンド使用時

⚠ 注意

❑ 電源・電源コード



電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。

火災、感電の原因となる恐れがあります。



使用後や長時間演奏しない時には、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

火災、感電の原因となる恐れがあります。



電源プラグやコードにほこりがたまらないように、清掃を行ってください。

電源プラグがショートし、火災の原因となる恐れがあります。電源プラグの清掃を行う際は、必ずコンセントから抜いて行ってください。



たこ足配線をしないでください。

コンセントが異常発熱して火災の原因となる恐れがあります。

❑ 設置



取扱説明書をよく読み、安全に正しくご使用ください。

本体は大きくて重量があります。安全にご使用いただくため、設置場所や日々の取扱については、十分ご注意ください。また、本体の設置、移動は必ず大人の方が行ってください。小さなお子様のご使用される場合は、必ずご家族の方が使用方法を教えてください。



設置、保管場所にご注意ください。

本機を以下のような場所に設置、保管しないでください。火災、感電など原因や、設置場所によってけがをする恐れがあります。

- ・ 高温・多湿な場所
- ・ 野外などの雨に濡れる場所
- ・ 暖房器具の近くや炎天下の車中など、温度が高くなる場所
- ・ 凸凹がある不安定な場所

上記以外にも、本機や周りの環境へ支障をきたす恐れがある場所には設置、保管しないでください。



本機に付いているゴム足について

本機を塗装がされている床などに長時間設置した場合、ゴム足と塗料が反応して塗装面が変色したりする恐れがあります。ゴム足の下にマットやフェルトなどの布を敷いて、ご使用ください。



本体に重いものを置かないでください。

本体が破損したり、ものが落ちてケガをする恐れがあります。

❑ お手入れ



本体のお手入れを行う時は、電源プラグを抜いてください。

電源プラグに付着したほこりなどのお手入れの際は、必ずコンセントからプラグを抜いてください。感電の原因となる恐れがあります。



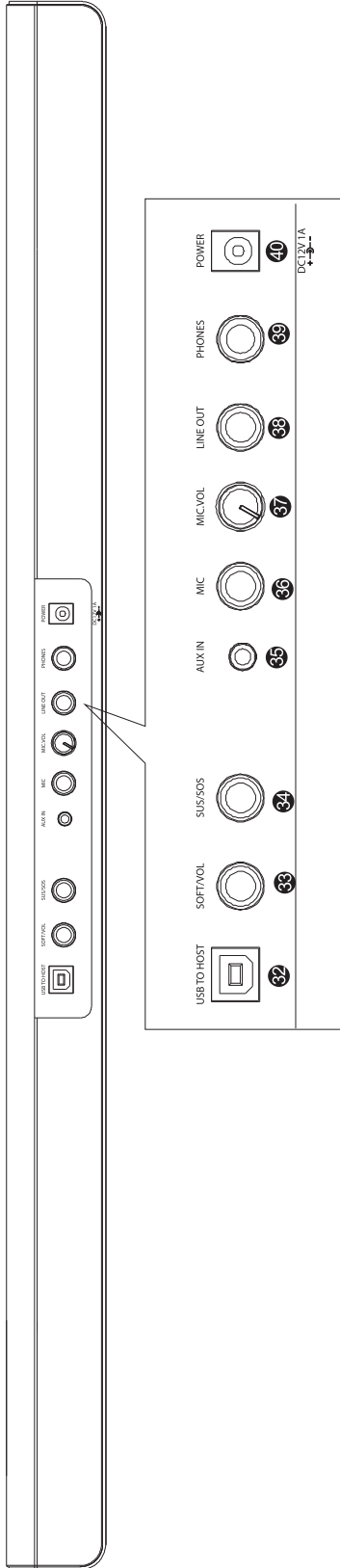
本体のお手入れは、乾いたやわらかい布、または水をしぼったやわらかい布をご使用ください。

シンナーやベンジン、洗剤などのクリーナー材を使用すると、本体のパネルや鍵盤部分に変色する恐れがあります。

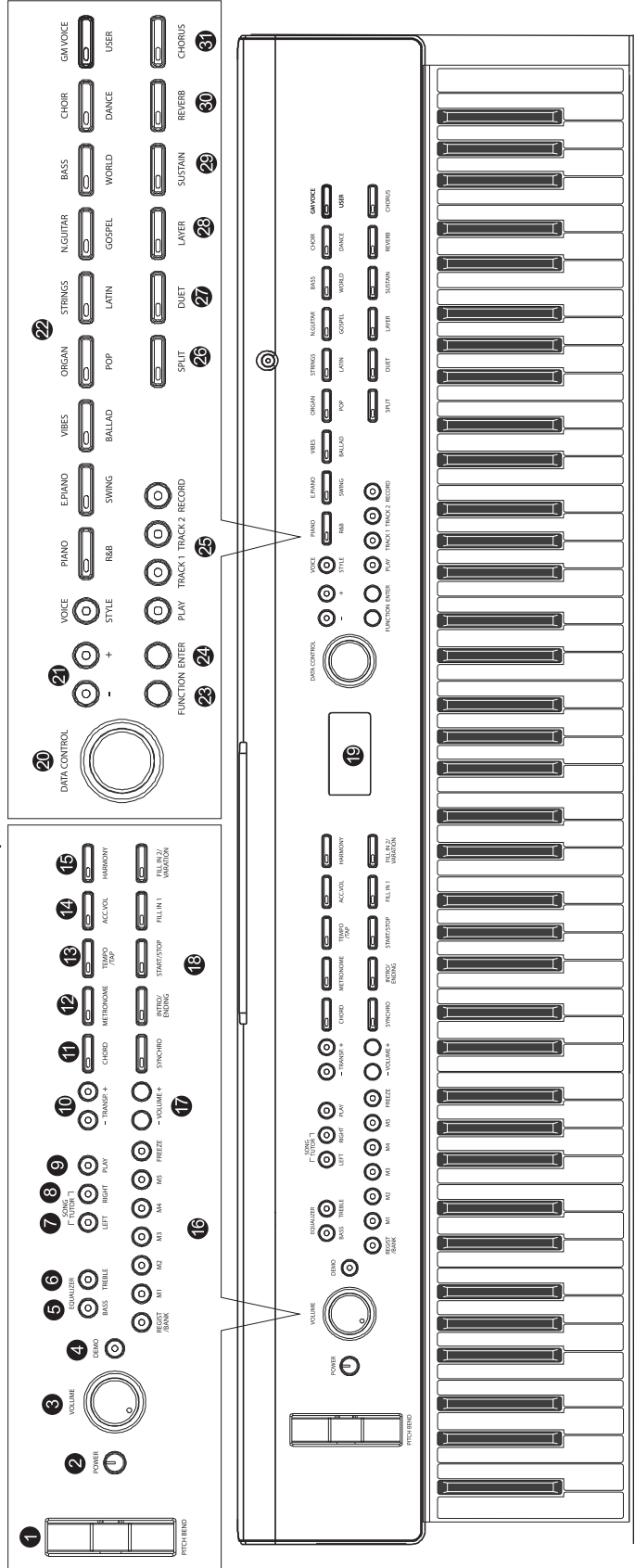
目次

PE-88 パネルコントロール	2-3	METRONOME VOLUME(メトロノームボリューム)	21
演奏をはじめると	4	SONG VOLUME(ソングボリューム)	21
電源をオンにする	4	MAIN VOICE PAN(メインボイスパン)	21
オートパワーオフ機能	4	SPLIT VOICE PAN(スプリットボイスパン)	22
ボリューム調整	4	DUAL VOICE PAN(デュアルボイスパン)	22
BASS&TREBLE	4	REVERB TYPE(リバーブタイプ)	22
ピッチベンド	5	MAIN VOICE REVERB LEVEL(メインボイスリバーブレベル)	23
デモソングの再生	5	SPLIT VOICE REVERB LEVEL(スプリットボイスリバーブレベル)	23
接続端子	6	DUAL VOICE REVERB LEVEL(デュアルボイスリバーブレベル)	24
USB-MIDI / USB Audio	6	CHORUS TYPE(コーラスタイプ)	24
AUX IN 端子	6	MAIN VOICE CHORUS LEVEL(メインボイスコーラスレベル)	24
MIC 端子	6	SPLIT VOICE CHORUS LEVEL(スプリットボイスコーラスレベル)	25
MIC VOL ノブ	6	DUAL VOICE CHORUS LEVEL(デュアルボイスコーラスレベル)	25
LINE OUT 端子	7	LOCAL(ローカルセッティング)	25
PHONES 端子	7	MIDI IN	26
SOFT/SOSTENUTO/SUSTAIN PEDAL 端子	7	MIDI OUT	26
電源アダプター	8	PEDAL 1	27
乾電池駆動	8	PEDAL 2	27
ボイス	9	PEDAL 3	28
ボイスの選択	9	エクスペリションペダルセット(ボリュームペダル)	28
ダイレクトセレクトボタン	9	DELETE TRACK(トラックデータの消去)	29
SPLIT ボタン	9	AUTO OFF SET(自動電源 OFF 機能)	29
SPLIT ボイス	10	FACTORY RESET(工場出荷時の状態に戻す)	29
SPLIT ボイスボリュームの調整	10	自動伴奏	30
SPLIT ポイントの変更	10	自動伴奏機能を使う(リズムトラックのみ)	30
DUET ボタン	10	リズムの選択	30
LAYER モード	10	リズムをスタートする	30
LAYER ボイスの選択	10	リズムを停止する	30
LAYER ボイスボリュームの調整	11	自動伴奏機能	31
LAYER モードの終了	11	シンクロナイズ機能	31
ユーザーボタン	11	自動伴奏を停止する	31
エフェクト	12	イントロスタート	31
Reverb(リバーブ)	12	FILL IN(フィルイン)	32
Reverb(リバーブ)のレベル調整	12	TEMPO/TAP ボタン	32
Chorus(コーラス)	12	METRONOME(メトロノーム)	32
Chorus(コーラス)のレベル調整	13	HARMONY(ハーモニーボタン)	33
SUSTAIN ボタン	13	Acc.vol ボタン(自動伴奏ボリュームボタン)	33
TRANSPOSE ボタン	13	メモリー登録	34
FUNCTION(ファンクション)	14-16	メモリー保存	34
TUNE(チューニング)	16	メモリー呼び出し	34
TOUCH(タッチレスポンス感度)	17	FREEZE(フリーズ機能)	34-35
TOUCH FIXED(タッチレスポンス感度の固定)	17	ソングレコーディング	36
MAIN VOICE OCTAVE(メインボイスオクターブ設定)	17	レコーディング方法	36
SPLIT VOICE OCTAVE(スプリットボイスオクターブ設定)	18	レコーディングの再生	37
DUAL VOICE OCTAVE(デュアルボイスオクターブ設定)	18	レコーディングデータの消去	37
SPLIT POINT(スプリットポイント)	18	練習ソングの再生	38
CHORD POINT(コードポイント)	19	練習ソングの選択	38
METRONOME TIME SIGNATURE(メトロノーム拍子設定)	19	練習ソングを聴く	38
OTS	19	右手パートの練習	39
MAIN VOICE VOLUME(メインボイスボリューム)	20	左手パートの練習	39
SPLIT VOICE VOLUME(スプリットボイスボリューム)	20	ファクトリーリセット(工場出荷時の状態に戻す)	40
DUAL VOICE VOLUME(デュアルボイスボリューム)	20	付録	41-43

Rear Panel



Top Panel



Top Panel

- ① ピッチベンド
- ② 電源ボタン
- ③ ボリュームノブ
- ④ DEMO ボタン
- ⑤ BASS EQUALIZER ボタン
- ⑥ TREBLE EQUALIZER ボタン
- ⑦ LEFT ボタン
- ⑧ RIGHT ボタン
- ⑨ PLAY ボタン
- ⑩ TRANSP. -/+ ボタン
- ⑪ CHORD ボタン
- ⑫ METRONOME ボタン
- ⑬ TEMPO/TAP ボタン
- ⑭ ACC.VOL ボタン
- ⑮ HARMONY ボタン
- ⑯ REGIST/BANK ボタン
(M1 ~ M5, FREEZE ボタン)
- ⑰ VOLUME ボタン -/+
- ⑱ SYNCHRO ボタン
INTRO/ENDING
START /STOP
FILL IN 1
FILL IN 2/VARIATION
- ⑲ LCD ディスプレイ
- ⑳ DATA CONTROL ノブ
- ㉑ -/+ ボタン
- ㉒ VOICE/STYLE ボタン
- ㉓ FUNCTION ボタン
- ㉔ ENTER ボタン
- ㉕ PLAY ボタン
TRACK 1
TRACK 2
RECORD
- ㉖ SPLIT ボタン
- ㉗ DUET ボタン
- ㉘ LAYER ボタン
- ㉙ SUSTAIN ボタン
- ㉚ REVERB ボタン
- ㉛ CHORUS ボタン

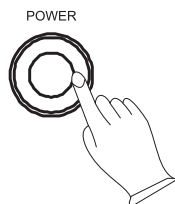
Rear Panel

- ㉜ USB TO HOST
- ㉝ SOFT/VOL
- ㉞ SUS/SOS
- ㉟ AUX IN
- ㊱ MIC
- ㊲ MIC.VOL
- ㊳ LINE OUT
- ㊴ PHONES
- ㊵ DC12V

電源をオンにする

電源をオンにする前に、VOLUME つまみが絞られていることを確認してください。

POWER ボタンを押して、電源をオンにします。電源がオンになると、パネルボタンが点灯します。



オートパワーオフ機能

オートパワーオフ機能は、設定した時間内に何も動作がない状態が続いた場合、自動的に電源がオフになる機能です。

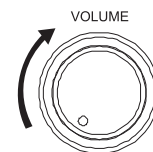
電源の切り忘れ防止に役立ちます。初期設定では 30 分に設定されています。

好みに応じて設定を変更してください。(参照：P.29 オートオフ設定)

ボリューム調整

電源がオンになっていることを確認し、VOLUME ツマミを回してください。

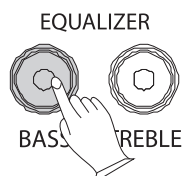
少しずつ時計回りに回して好みの音量に設定します。



BASS & TREBLE

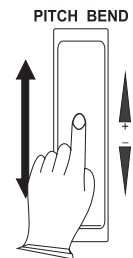
低音および高音の調整を行うことにより、ピアノの音色をより自分好みに変えることができます。

[BASS] または [TREBLE] ボタンを押した後、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで値を変更します。



ピッチベンド

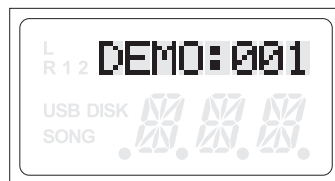
キーボードのピッチを瞬時に上げ下げする際には、このピッチベンドを使用します。
ホイールを上にあげるとピッチが上がり、ホイールを下げるとピッチが下がります。
ホイールを約 2 秒間下げた状態にすると、LCD パネルにピッチレンジが表示されます。
その状態で、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでピッチレンジの調整が可能です。
(0～12 度)
初期状態では、2 度に設定されています。



デモソングの再生

本機には 10 パターンのデモソングが収録されています。
デモソングは停止をしない限り繰り返し再生し続けます。

1. [DEMO] ボタンを押すとデモ演奏がスタートします。
LCD パネルにソングナンバーが表示されます。



2. [+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでデモソングを選択できます。
3. もう一度 [DEMO] ボタンを押してデモソングを停止します。

USB-MIDI / USB Audio

本機は USB 経由で MIDI 情報をパソコン、タブレット、またはスマートフォンに転送することができます。ドライバをインストールする必要はありません。本機はすべての標準 MIDI ベースのコンピュータソフトウェアで動作します。

USB Audio インターフェイスは、デジタルオーディオインターフェイスです。USB ケーブルを使用しパソコン、タブレット、またはスマートフォンからオーディオ信号を本機にデジタル転送し、ソフトウェアの音源を使って演奏したり、伴奏として使用できます。

※本機とパソコン、タブレット、スマートフォンを接続するためのケーブル(別売り)が必要です。

※本機能は他社製品の仕様によって正常に機能しない場合があります。他社製品との互換性、動作に関するお問い合わせはサポート対象外となります。



USB TO HOST

AUX IN 端子

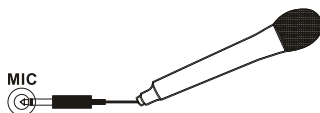
MP3 プレーヤー等の外部音源機器を接続して、本機搭載のスピーカーやヘッドフォンから出力することができます。AUX IN はミニステレオ端子です。

AUX IN



MIC 端子

市販のダイナミックマイクを接続して、本機搭載のスピーカーやヘッドフォンから出力することができます。MIC は 1/4" モノラル端子です。コンデンサーマイクは使用できません。



MIC VOL ノブ

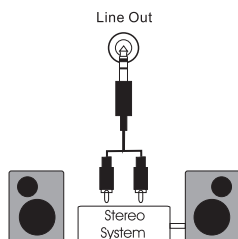
接続したマイクのボリュームを調整します。

MIC.VOL



LINE OUT 端子

市販の 1/4" ステレオまたはモノラルケーブルを用いて、外部スピーカーやアンプに接続します。



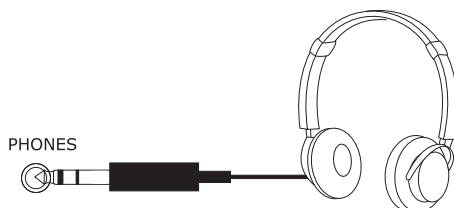
NOTE

外部機器へ接続する際は本機のボリュームを絞りと、スピーカーやアンプの電源が入っていない状態で接続してください。

PHONES 端子

市販のヘッドフォンを接続します。

端子は 1/4" ステレオフォンプラグです。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーからの出力はミュートされますが、LINE OUT からの出力はミュートされません。



SOFT/SOSTENUTO/SUSTAIN PEDAL 端子

付属のサスティンペダルを [SUS/SOS] に接続します。

※オプションの 3 本ペダルユニットを用いる場合は [SOFT/VOL] 端子も使用します。

SOFT/VOL



SUS/SOS



ペダルの役割例

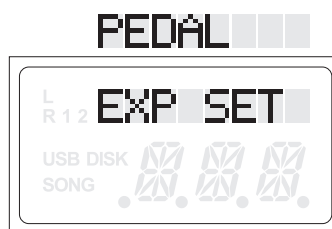
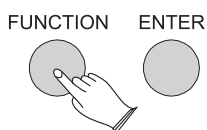
SOFT：サウンドにより柔らかいテイストを加えます。

SOSTENUTO：鍵盤を押した状態で SOSTENUTO ペダルを踏むと、押している鍵盤のみ音が伸びます。

SUSTAIN：アコースティック・ピアノのサスティン・ペダルと同様、音を伸ばす効果を加えます。

基本的なアコースティックピアノペダルと同様の役割以外にも、リズムトラックのフィルインに用いたりすることも可能です。また、市販のボリュームペダルまたは artesia 純正 3 本ペダルユニットをピアノに接続することが可能です。
※市販ペダルの仕様によっては使用できない、または正常な動作ができない場合があります。

各ペダルの役割設定に関しては P.27 ~ 28 を参照してください。



電源アダプター

付属の専用電源アダプターを POWER 端子へ接続します。

故障の原因となる恐れがありますので、付属の専用電源アダプター以外は使用しないでください。

乾電池駆動

本機は単一乾電池 6 個を使用して、アダプターなしで電源駆動が可能です。(乾電池は別売りです)

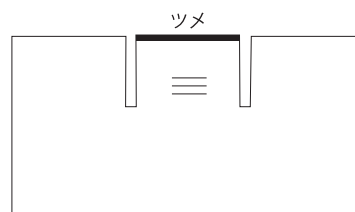
本体裏にあるバッテリーカバーのツメ部分を引っ掛けて手前に外します。

電池を入れる極性の方向表示を確認し、電池を 1 個ずつ入れてください。

また、電池は全て新しいものを使用してください。

古いものと混在して使用した場合、加熱・火災・液漏れなど予期せぬ事態の原因となる場合があります。

長時間使用しない時、電源アダプター使用時は、乾電池は必ず取り外してください。



NOTE

電池を入れる際、鍵盤部分やボタン等に負荷がかからない、安全な体勢で行ってください。鍵盤部分やボタン等に負荷がかかると、故障や破損の原因となる場合があります。

本機は重量がありますので、大人 2 名で作業を行い、転倒やケガに注意してください。

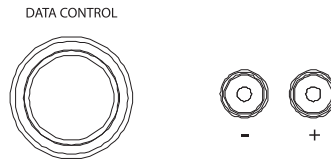
連続駆動時間は、電池の仕様や使用方法によって様々です。

■ ボイス

本機には 137 種類のボイスが収録されています。(ボイスリストは P.42 参照)

ボイスの選択

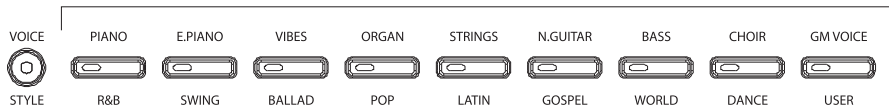
フロントパネルのボイスボタン、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで音色を選択します。



ダイレクトセレクトボタン

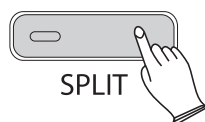
[VOICE / STYLE] ボタンが点灯していない時は、ダイレクトセレクトボタンを使ってボイスを選ぶことができます。ピアノ、オルガン等よく使われるボイスを、ボタン一つで瞬時に切り替えることができます。

ダイレクトセレクトボタン



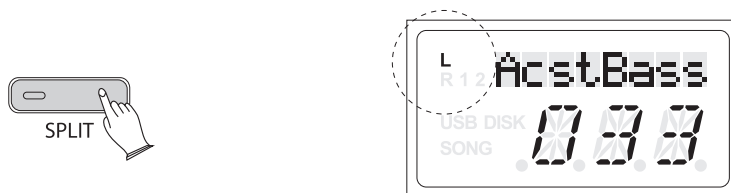
SPLIT ボタン

[SPLIT] ボタンを押すとスプリットモードになり、鍵盤が 2 つのセクションで分割されます。



SPLIT ボイス

[SPLIT] ボタンを押すとスプリット・ボタンが点滅し、スプリット・ボイスが LCD ディスプレイに 3 秒間表示されます。[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで左側 (L) のボイスを選択します。もう一度スプリット・ボタンを押すと、右側 (R) のボイスが選択可能になります。ボタンを押すごとに LCD ディスプレイ左上の「L/R」表示が切り替わります。変更動作を行わずに 3 秒間経つとスプリット・ボタンが点滅から点灯に変わり、自動的にスプリットモードに移ります。



SPLIT ボイスボリュームの調整

スプリット・ボイスボリュームの調整方法は FUNCTION 設定で行います。(P.20 を参照)

SPLIT ポイントの変更

[SPLIT] ボタンを長押しして、LCD ディスプレイに " SPLT PT " と表示されたら、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでスプリットポイントを移動することができます。ポイントは 0 ~ 88 の間で設定できます。(初期設定は 35)

DUET ボタン

デュエットモードは 2 人で同時に演奏したい場合に便利な機能です。レッスンや親子での演奏時に役立ちます。

[DUET] ボタンを押すとデュエットモードになり、鍵盤が 2 つの領域に分割されます。

右側：C # 3 ~ C 7

左側：A 1 ~ C 3

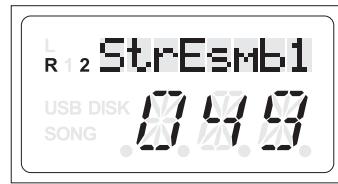
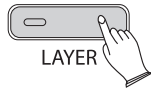


LAYER モード

レイヤーモード中は鍵盤を押すと 2 つのボイスが重なって発音されます。

LAYER ボイスの選択

[LAYER] ボタンを押すとレイヤー・ボタンが点滅します。点滅している間に [+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] で、重ねるボイスを選択します。変更動作を行わずに 3 秒間経つとレイヤー・ボタンが点滅から点灯に変わり、自動的にレイヤーモードに移ります。



LAYER ボイスボリュームの調整

レイヤー・ボイスボリュームの調整方法は FUNCTION 設定で行います。(P.20 を参照)

LAYER モードの終了

レイヤー ボタンを再度押して、レイヤーモードを終了します。

ユーザーボタン

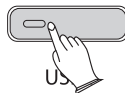
ユーザーボイス：

任意の楽器ボイスを USER クイックスタート・ボイスボタンにすることができます。

ボイスモードでは [VOICE / STYLE] ボタンが消灯し、[GM VOICE] インジケーターが点灯します。

[GM VOICE] ボタンを 3 秒長押しすると、LCD ディスプレイのボイス表示が点滅します。[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのボイスを選択し、もう一度 [GM VOICE] ボタンを押して保存します。

GM VOICE



ユーザーリズム (STYLE)：

任意のリズム (STYLE) を USER クイックスタート・ボイスボタンにすることができます。

[VOICE / STYLE] ボタンを押してスタイルモードにした状態で、[GM VOICE] ボタンを押します。

[GM VOICE] ボタンを 3 秒長押しすると、LCD ディスプレイのボイス表示が点滅します。[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのリズム (STYLE) を選択し、もう一度 [GM VOICE] ボタンを押して保存します。

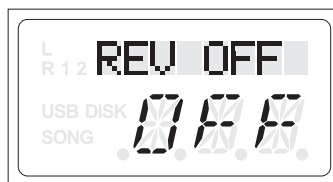
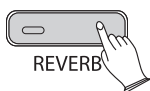
Reverb (リバーブ)

全てのボイスに対してリバーブエフェクトを加えることができます。
エフェクトは 8 種類の中から選択します。(初期設定は Hall 2 です)

リバーブの種類：

1. Hall 1 2. Hall 2 3. Room 1 4. Room 2 5. Room 3 6. Stage 1 7. Stage 2 8. Plate

- 1.[REVERB] ボタンを押します。LCD ディスプレイに現在選択されているリバーブエフェクトが表示されます。
- 2.[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのリバーブエフェクトを選択します。
3. 動作を行わずに 3 秒間経過すると、選択したリバーブエフェクトが保存されます。
4. もう一度 [REVERB] ボタンを押すと、エフェクトがオフになります。



Reverb (リバーブ) のレベル調整

リバーブのレベル調整方法は FUNCTION 設定で行います。(P.23 を参照)

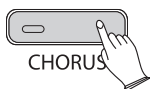
Chorus (コーラス)

全てのボイスに対してコーラスエフェクトを加えることができます。
エフェクトは 13 種類の中から選択します。(初期設定は CHORUS 3 です)

コーラスの種類：

1. Chorus 1 2. Chorus 2 3. Chorus 3 4. Chorus 4 5. Feedback 6. Flanger 1 7. ShrtDely 8. Short FB 9. Flanger 2
10. Flanger 3 11. Celeste 1 12. Celeste 2 13. Celeste 3

- 1.[CHORUS] ボタンを押します。LCD ディスプレイに現在選択されているコーラスエフェクトが表示されます。
- 2.[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのコーラスエフェクトを選択します。
3. 動作を行わずに 3 秒間経過すると、選択したコーラスエフェクトが保存されます。
4. もう一度 [CHORUS] ボタンを押すと、エフェクトがオフになります。



Chorus (コーラス) のレベル調整

コーラスのレベル調整方法は FUNCTION 設定で行います。(P.24 を参照)

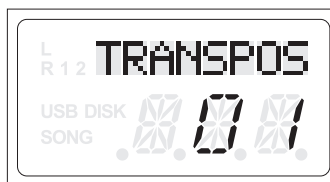
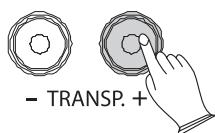
SUSTAIN ボタン

サスティンボタンはサスティンペダルと連動して LED が点灯 / 消灯します。
サスティンボタンを押すと、常にペダルを踏んだ状態と同じになり、演奏時にサスティンがかかります。
この状態でサスティンペダルを踏むと、サスティンボタンの LED が消灯し、効果がリセットされます。



TRANSPOSE ボタン

トランスポーズ機能を使って、音程を半音単位で最大 12 セミトーン (1 オクターブ) 上下させることが可能です。
[TRANSP.] ボタンの +/- で瞬時に半音ずつ変更が可能です。
変更動作を 3 秒間行わないと、選択したトランスポーズの値が設定されます。



FUNCTION (ファンクション)

各モードのより細かい設定を行うために、[FUNCTION] ボタンを押してファンクションモードにします。
各機能設定は以下の様にグループ分類されております。

メニュー	サブメニュー	ディスプレイ表示	調整範囲	初期設定
PERFORM	Tune	TUNE	-64~63	0
	Piano key Touch Sensitivity	TOUCH	TOUCH LO,TOUCHNOR TOUCH HI,TCH2 LOW TCH2 NOR,TCH2 HI FIXED	TOUCHNOR
	Fixed Touch	NO TOUCH	00~127	100
	Main Voice Octave	MAIN OCT	-2~2	0
	Split Voice Octave	SPLT OCT	-2~2	0
	Dual Voice Octave	DUAL OCT	-2~2	0
	Split Point	SPLT PT	1~88	35
	Chord Point	CHRD PT	1~88	35
	Metronome Signature	METRO SG	2/2,1/4,2/4,3/4,4/4 5/4,6/4,3/8,6/8,7/8 9/8,12/8	4/4
	OTS	OTS	ON/OFF	OFF
MIXER	Main Voice Volume	MAIN VOL	0~127	110
	Split Voice Volume	SPLT VOL	0~127	110
	Dual Voice Volume	DUAL VOL	0~127	75
	Metronome Volume	MET VOL	0~127	100
	Song Volume	SONG VOL	0~127	110

メニュー	サブメニュー	ディスプレイ表示	調整範囲	初期設定
MIXER	Main Voice Pan	MAIN PAN	-64~63	00
	Split Voice Pan	SPLT PAN	-64~63	00
	Dual Voice Pan	DUAL PAN	-64~63	00
EFFECT	Reverb Type	REV TYPE	0:REV OFF, 1:HALL 1 2:HALL 2, 3:ROOM 1 4:ROOM 2, 5:ROOM 3 6:STAGE 1, 7:STAGE 2 8:PLATE	HALL 2
	Main Voice Reverb Level	MAIN REV	0~127	36
	Split Voice Reverb Level	SPLT REV	0~127	36
	Dual Voice Reverb Level	DUAL REV	0~127	36
	ChorusType	CHR TYPE	0:CHROFF, 1:CHORUS1 2:CHORUS2, 3:CHORUS3 4:CHORUS4, 5:FEEDBACK 6:FLANGER1, 7:SHORTDLY 8:SHORTFB,9:FLANGER2 10:FLANGER3, 11:CELESTE1 12:CELESTE2, 13:CELESTE3	CHORUS 3
	Main Voice Chorus Level	MAIN CHR	0~127	110
	Split Voice Chorus Level	SPLT CHR	0~127	110
	Dual Voice Chorus Level	DUAL CHRL	0~127	110
	Local	LOCAL	ON/OFF	ON
MIDI SET	MIDI IN	MIDI IN	ON/OFF	ON
	MIDI OUT	MIDI OUT	1-9,11-16 Off	01
PEDAL	Pedal 1 Set*	PEDAL 1	0PD1 NULL, 1PD1 SUS 2PD1 SOS, 3PD1 SOFT 4PD1 STRT(start/stop) 5PD1 FIL1, 6PD1 FIL2 7PD1 MEM(load mem)	1PD1 SUS

メニュー	サブメニュー	ディスプレイ表示	調整範囲	初期設定
PEDAL	Pedal 2 Set*	PEDAL 2	0PD2 NULL, 1PD2 SUS 2PD2 SOS, 3PD2 SOFT 4PD2 STRT(start/stop) 5PD2 FIL1, 6PD2 FIL2 7PD2 MEM(load mem)	2PD2 SOS
	Pedal 3 Set*	PEDAL 3	0PD3 NULL, 1PD3 SUS 2PD3 SOS, 3PD3 SOFT 4PD3 STRT(start/stop) 5PD3 FIL1, 6PD3 FIL2 7PD3 MEM(load mem) 8PD3 EXP	3 PD3 SOFT
	Expression Pedal*	EXP SET	0~255	0~255
OTHER	DeleteTrack	DEL REC	DEL TRK1 DEL TRK2 DEL ALL	DEL TRK1
	Auto Off Set*	AUTO OFF	0 20-60min	30min
	Factory Reset	RESET	Press [ENTER] to confirm	

ファンクションボタンを押して3秒間動作を行わないと、自動的にファンクションモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。

メニュー表のサブメニューで(※)マークがついている項目は、変更した設定が自動保存されます。

TUNE (チューニング)

この設定により、ピアノの音程を他の楽器に合わせることができます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCDに"PERFORM"と表示されますので[ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは[DATA CONTROL] ノブで"TUNE"を選択し[ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは[DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-64 ~ 63 (初期設定は00です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



TOUCH (タッチレスポンス感度)

この設定により、鍵盤のタッチレスポンスの感度を変更することが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " TOUCH " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

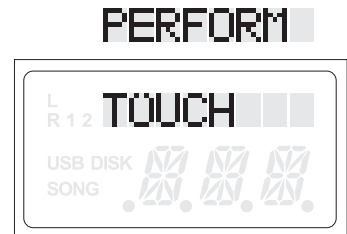
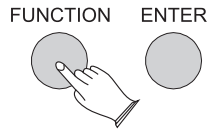
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：1. TOUCH LO 2. TOUCH NOR 3. TOUCH HI 4. TCH2 LOW 5. TCH2 NOR 6. TCH2 HI 7. FIXED

(初期設定は 2. TOUCH NOR です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



TOUCH FIXED (タッチレスポンス感度の固定)

この設定により、鍵盤のタッチレスポンスの感度を固定することが出来ます。

オルガンなどの演奏時に役立ちます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

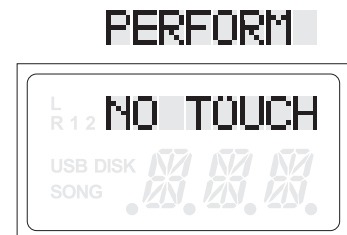
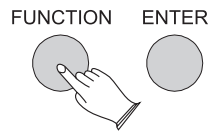
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " NO TOUCH " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ~ 1 2 7 (初期設定は 1 0 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



MAIN VOICE OCTAVE (メインボイス オクターブ設定)

この設定により、メインボイスのオクターブ変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

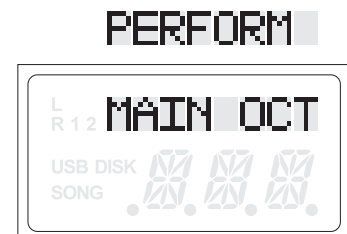
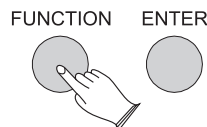
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " MAIN OCT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：- 2 ~ 2 (初期設定は 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT VOICE OCTAVE (スプリットボイス オクターブ設定)

この設定により、スプリットボイスのオクターブ変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

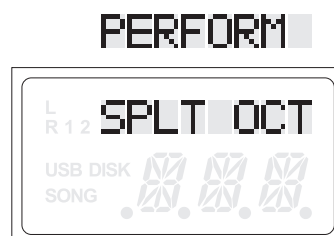
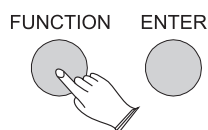
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SPLT OCT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-2～2 (初期設定は 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



DUAL VOICE OCTAVE (デュアルボイス オクターブ設定)

この設定により、デュアルボイスのオクターブ変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

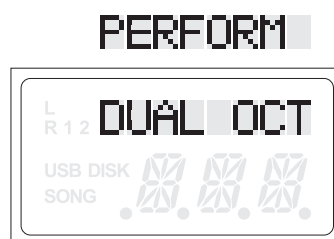
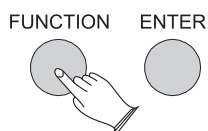
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " DUAL OCT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-2～2 (初期設定は 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT POINT(スプリットポイント)

この設定により、スプリットポイントの変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

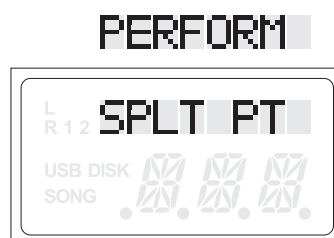
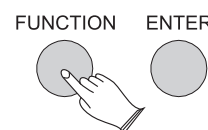
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SPLT PT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：1～88 (初期設定は 35 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



CHORD POINT (コードポイント)

この設定により、コード伴奏をするポイントの変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

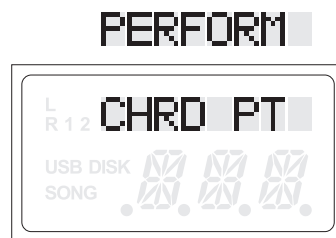
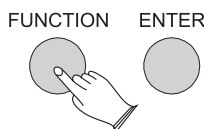
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " CHRD PT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：1～88 (初期設定は 35 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



METRONOME TIME SIGNATURE (メトロノーム拍子設定)

この設定により、メトロノームの拍子変更をすることが出来ます。

[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " METRO SG " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

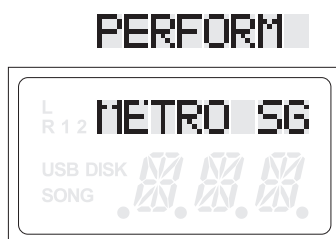
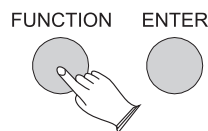
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8

(初期設定は 4/4 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



OTS

この設定をオンにすると、リズム選択時に最適なボイスを自動的に選択します。

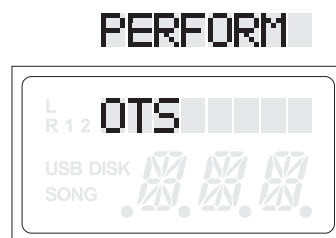
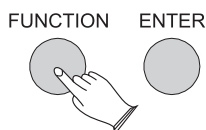
[FUNCTION] ボタンを押すと、LCD に " PERFORM " と表示されますので [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " OTS " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで ON または OFF を選択します。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：ON/OFF (初期設定は OFF です)



MAIN VOICE VOLUME (メインボイスボリューム)

この設定により、メインボイスのボリューム変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

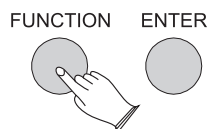
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " MAIN VOL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 110 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT VOICE VOLUME (スプリットボイスボリューム)

この設定により、スプリットボイスのボリューム変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

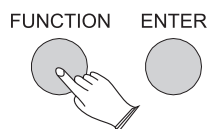
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SPLT VOL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 110 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



DUAL VOICE VOLUME (デュアルボイスボリューム)

この設定により、デュアルボイスのボリューム変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

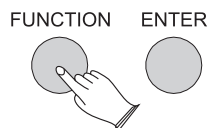
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " DUAL VOL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 75 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



METRONOME VOLUME (メトロノーム ボリューム)

この設定により、メトロノームのボリューム変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

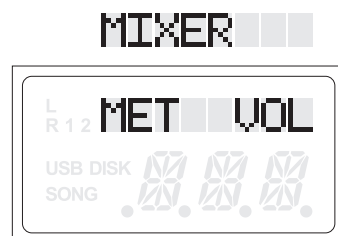
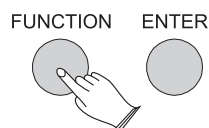
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " MET VOL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 100 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SONG VOLUME (ソング ボリューム)

この設定により、ソングのボリューム変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

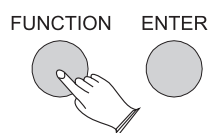
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SONG VOL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 110 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



MAIN VOICE PAN (メインボイスパン)

この設定により、オーケストレーションパートのステレオポジションの変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

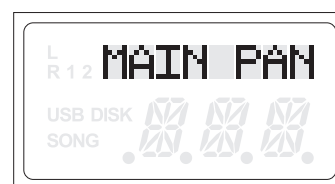
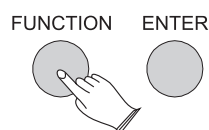
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " MAIN PAN " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-64～63 (初期設定は 00 センターポジションです)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT VOICE PAN (スプリットボイスパン)

この設定により、スプリットボイスのステレオポジションの変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

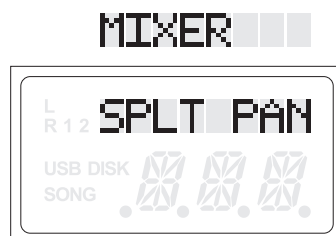
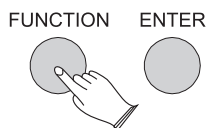
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SPLT PAN " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-6 4 ~ 6 3 (初期設定は 0 0 センターポジションです)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



DUAL VOICE PAN (デュアルボイスパン)

この設定により、デュアルボイスのステレオポジションの変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIXER " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

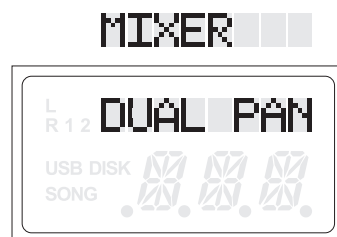
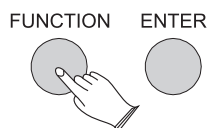
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " DUAL PAN " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：-6 4 ~ 6 3 (初期設定は 0 0 センターポジションです)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



REVERB TYPE (リバーブタイプ)

この設定により、リバーブエフェクトタイプの変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " EFFECT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " REV TYPE " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

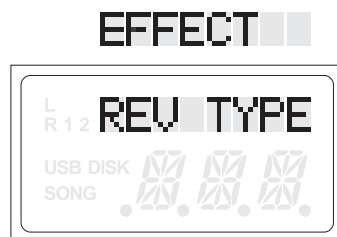
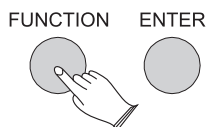
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのリバーブタイプを選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

リバーブの種類：

1. Hall 1 2. Hall 2 3. Room 1 4. Room 2 5. Room 3 6. Stage 1 7. Stage 2 8. Plate (初期設定は Hall 2 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



MAIN VOICE REVERB LEVEL (メインボイス リバーブレベル)

この設定により、メインボイスにかかるリバーブエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "EFFECT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

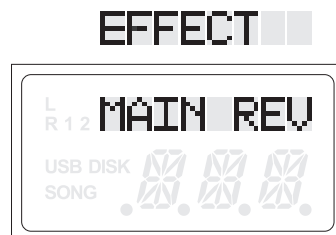
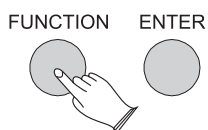
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "MAIN REV" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ～ 1 2 7 (初期設定は 3 6 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT VOICE REVERB LEVEL (スプリットボイス リバーブレベル)

この設定により、スプリットボイスにかかるリバーブエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "EFFECT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

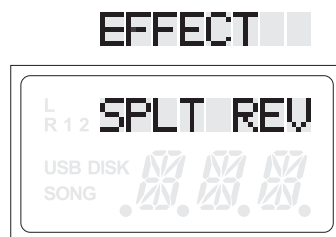
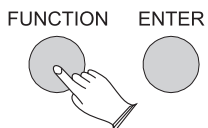
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "SPLT REV" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ～ 1 2 7 (初期設定は 3 6 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



DUAL VOICE REVERB LEVEL (デュアルボイス リバーブレベル)

この設定により、デュアルボイスにかかるリバーブエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "EFFECT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

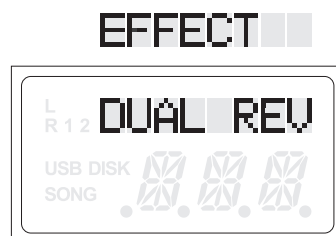
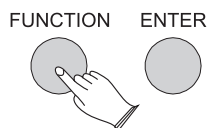
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "DUAL REV" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ~ 1 2 7 (初期設定は 3 6 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



CHORUS TYPE (コーラスタイプ)

この設定により、コーラスエフェクトタイプの変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "EFFECT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "CHR TYPE" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

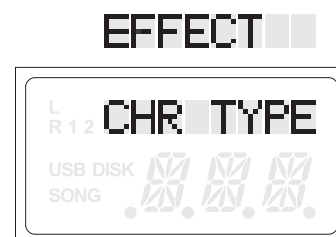
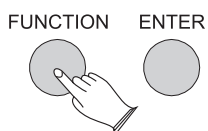
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

コーラスの種類：

1. Chorus 1
 2. Chorus 2
 3. Chorus 3
 4. Chorus 4
 5. Feedback
 6. Flanger 1
 7. ShrtDely
 8. Short FB
 9. Flanger 2
 10. Flanger 3
 11. Celeste 1
 12. Celeste 2
 13. Celeste 3
- (初期設定は Chorus 3 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



MAIN VOICE CHORUS LEVEL (メインボイス コーラスレベル)

この設定により、メインボイスにかかるコーラスエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "EFFECT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

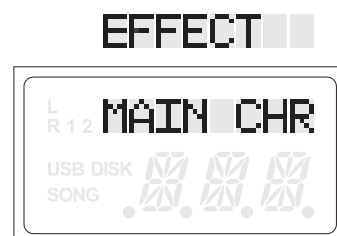
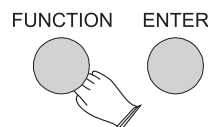
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "MAIN CHR" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ~ 1 2 7 (初期設定は 1 1 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



SPLIT VOICE CHORUS LEVEL (スプリットボイス コーラスレベル)

この設定により、スプリットボイスにかかるコーラスエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " EFFECT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

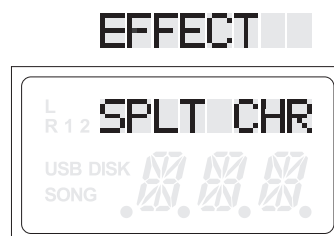
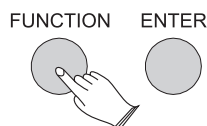
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " SPLT CHR " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ~ 1 2 7 (初期設定は 1 1 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



DUAL VOICE CHORUS LEVEL (デュアルボイス コーラスレベル)

この設定により、デュアルボイスにかかるコーラスエフェクトのレベル変更ができます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " EFFECT " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

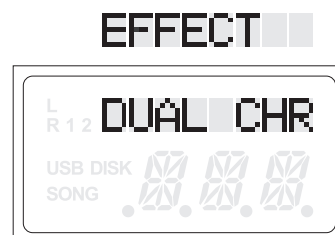
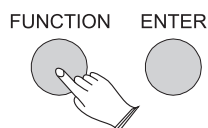
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " DUAL CHR " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：0 ~ 1 2 7 (初期設定は 1 1 0 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



LOCAL (ローカルセッティング)

ローカルセッティングでは鍵盤を弾いた時に音を出力する、またはしないように設定変更できます。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " MIDISSET " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " LOCAL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでオン、オフの設定をおこないます。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定設定：オン

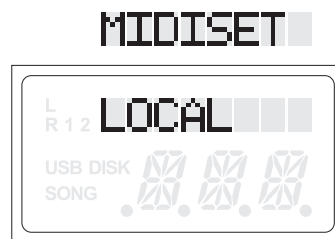
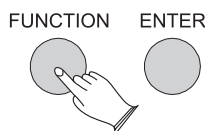
[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

[LOCAL ON]: 通常はオンの状態にします。鍵盤を弾くと MIDI 信号は本機の内臓音源へ送られ、出力します。

[LOCAL OFF]: 鍵盤を弾いても MIDI 信号は本機の内臓音源へ送られないため、音を発音しません。

本機を MIDI コントローラーやマスターキーボードとして使用する際に便利な機能です。

(通常設定: オン)



MIDI IN

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "MIDI SET" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

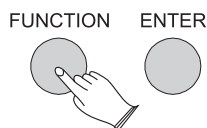
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "MIDI IN" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでオン、オフの設定をおこないます。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

(通常設定: オン)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



MIDI OUT

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして "MIDI SET" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

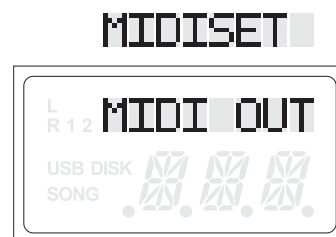
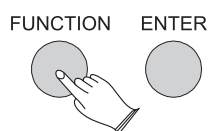
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "MIDI OUT" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでナンバーを選択します。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

(通常設定: 1) 設定範囲: 1 ~ 16, または OFF (10 は選択できません)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



PEDAL 1

この設定により、接続しているペダルの効果を変更できます。(SUS/SOS)

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押して " PEDAL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " PEDAL 1 " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのペダル効果を選択します。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

(通常設定：PD1 SUS)

ペダル効果の種類：

0：PD1 NULL 1：PD1 SUS 2：PD1 SOS 3：PD1 SOFT 4：PD1 STRT 5：PD1 FIL1 6：PD1 FIL2 7：PD1 MEM

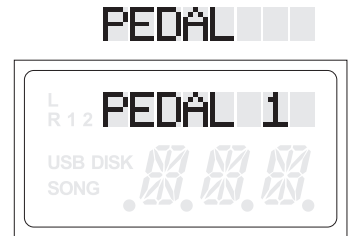
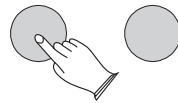
[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

【ペダル効果】

SUS/SOS



FUNCTION ENTER



PD1 NULL：

ペダルの効果を用いない場合に設定します。

PD1 SUS：サステーン

ペダルを踏んでいる間、演奏中の音を伸ばす効果があります。

PD1 SOS：ソステヌート

鍵盤を弾いてペダルを踏むと、その音符に対してのみサステーン効果がかかり、その後に弾く音にはかかりません。

PD1 SOFT：ソフトペダル

演奏中にペダルを踏むと、僅かに全体の音量が小さくなります。

PD1 STRT：リズムスタート / ストップ

コントロールパネルにある [START/STOP] ボタンと同じ効果になり、リズムスタート、ストップをペダルで操作できます。

PD1 FIL1：フィルイン 1

コントロールパネルにある [FILL IN1] ボタンと同じ効果になり、伴奏のリズムにブレークを追加します。

PD1 FIL2：フィルイン 2

コントロールパネルにある [FILL IN2 / VARIATION] ボタンと同じ効果になり、伴奏のリズムにブレークを追加します。

PD1 MEM：

REGISTRATION MEMORY ボタンにアクセスできます。保存されていた設定は上書きされます。

PEDAL 2

この設定により、3 本ペダルユニットの真ん中のペダル効果を変更できます。(SOFT/VOL)

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押して " PEDAL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " PEDAL 2 " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのペダル効果を選択します。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

(通常設定：PD2 SOS)

ペダル効果の種類：

0：PD2 NULL 1：PD2 SUS 2：PD2 SOS 3：PD2 SOFT 4：PD2 STRT 5：PD2 FIL1 6：PD2 FIL2 7：PD2 MEM

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

SOFT/VOL



PEDAL 3

この設定により、3本ペダルユニットの左側のペダル効果を変更できます。(SOFT/VOL)

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " PEDAL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " PEDAL 3 " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのペダル効果を選択します。

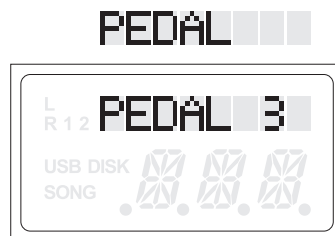
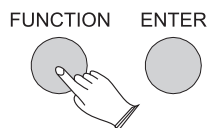
3秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、ファンクションモード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

(通常設定：PD3 SOFT)

ペダル効果の種類：

0：PD3 NULL 1：PD3 SUS 2：PD3 SOS 3：PD3 SOFT 4：PD3 STRT 5：PD3 FIL1 6：PD3 FIL2 7：PD3 MEM
8：PD3 EXP

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



エクスペディションペダルセット (ボリュームペダル)

市販のボリュームペダルを使用する際の最小・最大レベル値の設定を行います。(SOFT/VOL)

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押しして " PEDAL " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

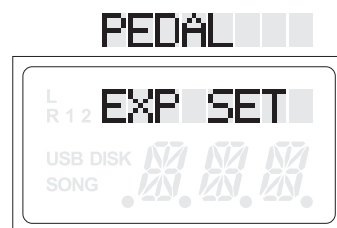
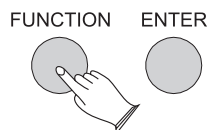
[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで " EXP SET " を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのペダル効果を選択します。

最大値の設定を行う場合は、ペダルを最大値のポジションにした状態で [+] ボタンを押します。

最小値の設定を行う場合は、ペダルを最小値のポジションにした状態で [-] ボタンを押します。

[ENTER] ボタンを押して設定を確定し、設定を保存します。(" EXP OK " と表示されます)



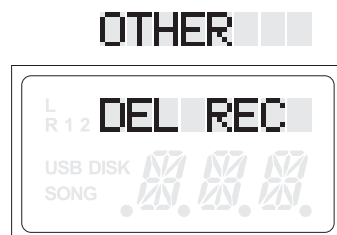
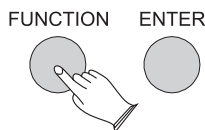
DELETE TRACK (トラックデータの消去)

音楽レコーダーから録音した曲を削除するには、以下の手順で行います。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押し続けて "OTHER" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "DEL REC" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "DEL TRK1"、"DEL TRK2"、"DEL ALL" のいずれかを選択し、[ENTER] ボタンでデータを消去します。



AUTO OFF SET (自動電源 OFF 機能)

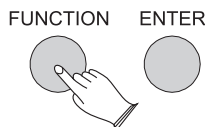
自動電源 OFF 機能の時間設定を行います。

[FUNCTION] ボタンを繰り返し押し続けて "OTHER" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "AUTO OFF" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで時間の設定を行います。

設定範囲：20～60 min (分), OFF : Cancel

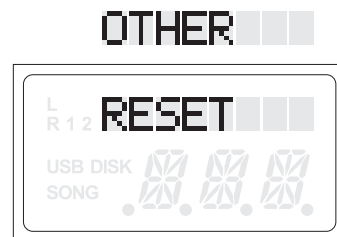
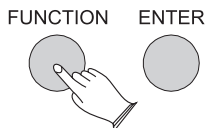


FACTORY RESET (工場出荷時の状態に戻す)

全ての設定を工場出荷時の状態に戻したい場合は、以下の手順で行います。

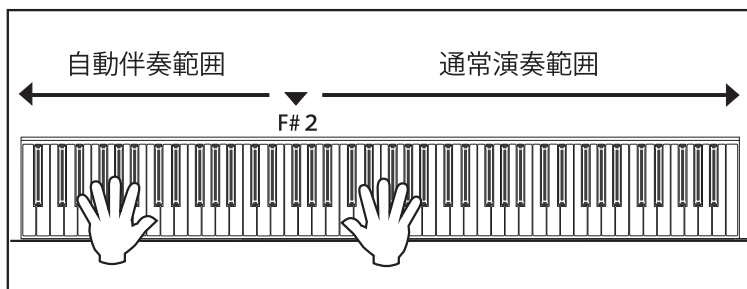
[FUNCTION] ボタンを繰り返し押し続けて "OTHER" を選択し [ENTER] ボタンを押します。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで "RESET" を選択し [ENTER] ボタンを押すと工場出荷時の状態に全ての設定が戻ります。



❖ 自動伴奏

本機には 100 種類の自動伴奏機能が備えられています。自動伴奏機能をオンにすると、リズム、ベースとコードの伴奏をスプリットポイントの左側の鍵盤で演奏します。鍵盤右側のセクションは、通常の演奏に使用します。初期設定では“F#2” キーがスプリットポイントに設定されています。



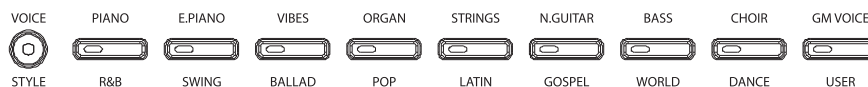
自動伴奏機能を使う (リズムトラックのみ)

リズムの選択

[VOICE/STYLE] ボタンを押すと LED ライトが点灯します。LED が点灯している場合は “STYLE” モードになります。[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのリズムスタイルを選択します。



“STYLE” モード時にダイレクトセレクトボタンでリズムを選択することも可能です。ボタン下部に明記されているスタイルを瞬時にセレクトできます。



リズムをスタートする

[START/STOP] ボタンを押すと、選択されたリズムがスタートします。

リズムを停止する

リズムが鳴っている最中に [START/STOP] ボタンを押すと、リズムが停止します。

自動伴奏機能

1. リズムスタイルの選択をします。選択方法は P.30(リズムの選択) をご参照ください。
2. 次に [CHORD] ボタンを押します。鍵盤の左側のセクションが自動伴奏セクションになり、このセクションで演奏されたコードが自動的に検出され、選択されたリズムスタイルの自動伴奏として使用されます。

シンクロスタート機能

[SYNCHRO] ボタンを押します。ビートランプがテンポに合わせて点滅し、同期スタートスタンバイ状態になります。左手で和音を演奏すると、自動的に伴奏が始まります。



自動伴奏を停止する

自動伴奏中に [START / STOP] ボタンを押すと、自動伴奏が停止します。
または、[INTRO / ENDING] ボタンを押して、伴奏をタイミング良く終了させることもできます。

イントロスタート

[INTRO / ENDING] ボタンをダイレクトに押すと、すべての伴奏パターンに適したイントロダクションでスタートすることができます。

[SYNCHRO] ボタンを押してから [INTRO / ENDING] ボタンを押した場合、自動伴奏セクションにコードが検出されるとすぐに伴奏がスタートします。



FILL IN (フィル イン)

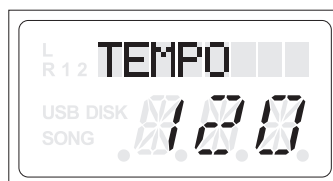
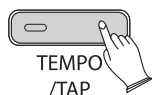
伴奏中に [FILL IN 1] ボタンを押すと、フィルインを追加します。

[SYNCHRO] ボタンを押してから [FILL IN1] ボタンまたは [FILL IN2 / VARIATION] ボタンを押した場合、キーボードの自動伴奏セクションでコードが検出されるとすぐに伴奏がスタートします。

TEMPO/TAP ボタン

[TEMPO / TAP] ボタンでテンポを設定します。[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブでテンポを選択します。タップテンポ機能はリズムトラックとリンクしており、タップテンポが設定されると自動的にリズムトラックが再生されます。

上記の方法以外にも、ボタンをタップした間隔でテンポを決めるタップテンポ機能があります。リズム演奏中にボタンを 2 回押すと、タップテンポとしてリズムテンポが設定されます。リズムをスタートする前にタップテンポで設定したい場合は、ボタンを 4 回タップします。(3/4 拍子のタップは 3 回だけです)



METRONOME (メトロノーム)

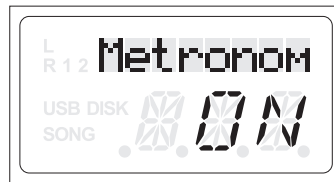
[METRONOME] ボタンを押すと、メトロノームがスタートし、もう一度押すと停止します。

[METRONOME] ボタンを長押しすることで拍子を選択することが出来ます。

LED ディスプレイの表示が拍子に切り替わったら、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで拍子を選択します。3 秒間動作を行わないと自動的にモードを終了し、表示された拍子が設定されます。

設定範囲：1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8

初期設定：4/4



HARMONY (ハーモニーボタン)

ハーモニー機能は、自動伴奏中に使用します。

演奏するメロディー（通常演奏範囲）をアシストする機能を備えています。

[HARMONY] ボタンを押すと、LED インジケーターが点灯します。

自動伴奏のコードトーンを自動で認識し、メロディーにハーモニーを加えます。



もう一度ボタンを押すと LED インジケーターが消灯し、ハーモニー機能がオフになります。

Acc.vol ボタン (自動伴奏ボリュームボタン)

自動伴奏の音量は、00～127の範囲で調節可能です。

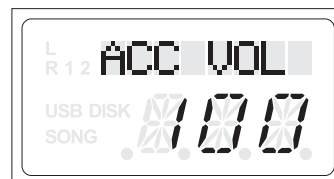
[ACC.VOL] ボタンを押すと、ディスプレイに "ACC VOL" が表示されます。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みの値を選んでください。

3 秒間動作を行わないと、自動的にモードを終了し、モード選択前のメニューに戻ります。(設定完了)

設定範囲：00～127 (初期設定は 90 です)

[+/-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

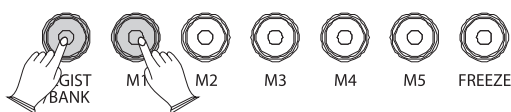


❏ メモリー登録

本機は、5つのバンクからなる4つのグループをコントロールパネルセッティングに保存できます。
対応するメモリーボタンを押すと、保存してある設定を素早く呼び出すことができます。

メモリー保存

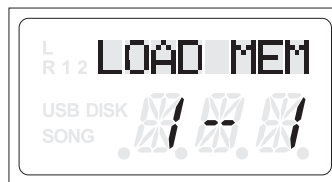
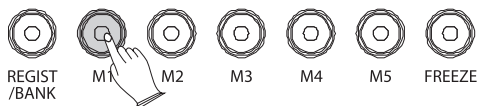
[REGIST/BANK] ボタンを繰り返し押し続けてメモリーバンク（1~4）を選択し、[REGIST/BANK] ボタンを押しながら [MI-M5] ボタンを押すと、現在のコントロールパネルの設定がメモリーに保存されます。



メモリー呼び出し

[REGIST/BANK] ボタンを繰り返し押し続けてメモリーバンク（1~4）を選択し、[MI-M5] ボタンを押すと保存した情報を呼び出すことができます。

LCD ディスプレイにはコントロールパネルの設定とメモリが表示されます。

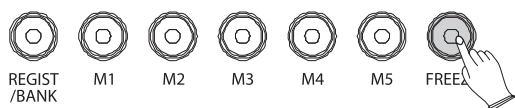


FREEZE (フリーズ機能)

[FREEZE] ボタンを押して、フリーズ機能のオン/オフを切り替えます。

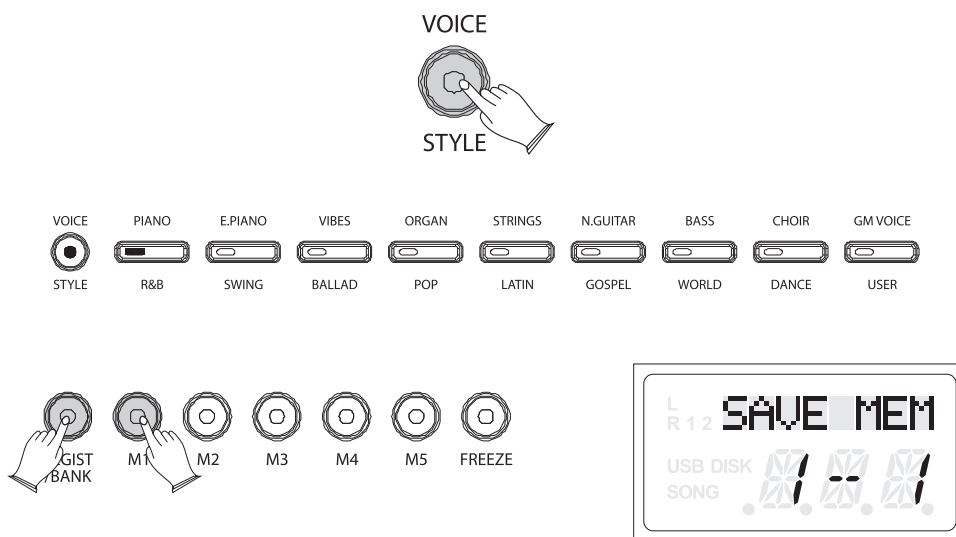
フリーズ機能がオンのときは、伴奏設定を除いてメモリ設定を呼び出すことができます。

伴奏に影響を与えずに保存されているメモリー機能を呼び出すことができます。



使用例：

[VOICE/STYLE] ボタンをオンにし、[R&G] ボタンを押しながら [REGIST / BANK] ボタンを繰り返し押し続けてメモリーバンク 1 を選び、[REGIST / BANK] ボタンを押しながら [M1] ボタンを押すと、[R&G] スタイルがメモリー (SAVE MEM1-1) に保存されます。



メモリーバンクは全部で4つあり、それぞれ5パターン (M1 ~ M5) ありますので、全部で20通りの保存が可能です。

フリーズ機能がオフの時は、[START / STOP] を押してリズムスタイルを開始し、[M1] ボタンを押すと保存されたスタイルが再生されます。

フリーズ機能がオンの時は伴奏設定を除いてメモリ設定を呼び出すことができます。

■ ソングレコーディング

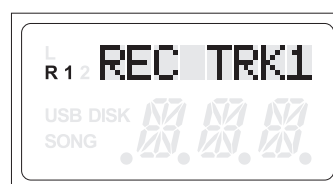
本機に内蔵されているソングレコーダーは、2つのトラックを録音・再生することができます。

1つのパートを録音し、最初のパートを再生しながら2つ目のパートを録音することも可能で、2つのトラックを同時再生、または一方のみ再生することが可能です。

レコーディング方法

Track1

1. [RECORD] ボタンを押しながら [TRACK 1] ボタンを押すと、[TRACK 1] ボタンのランプが点滅し、[RECORD] ボタンのランプが点灯します。



2. メトロノーム 4 カウント後にレコーディングがスタートします。



3. [RECORD] ボタンを押して、レコーディングを終了します。

NOTE

TRACK1 には伴奏は記録されません。TRACK2 のみ伴奏を保存できます。伴奏のみまたは伴奏込みの演奏をレコーディングしたい場合は、TRACK2 を選択してください。

Track2

1. [RECORD] ボタンを押しながら [TRACK 2] ボタンを押すと、[TRACK 2] ボタンのランプが点滅し、[RECORD] ボタンのランプが点灯します。



2. メトロノーム 4 カウント後にレコーディングがスタートします。



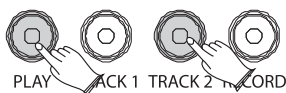
3. [RECORD] ボタンを押して、レコーディングを終了します。

NOTE

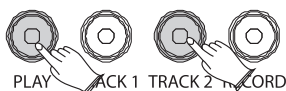
TRACK 1 にデータが記録されている場合、TRACK2 のレコーディングを開始すると自動的に再生されます。
[TRACK1] ボタンを押すとインジケーターが消灯し、TRACK1 はミュートされます。

レコーディングの再生

TRACK1 または TRACK2 にデータが記録されている場合、各ボタンを押すと LED が点灯 / 消灯します。
再生したボタンの LED を点灯させて、[PLAY] ボタンを押して対象の TRACK を再生します。



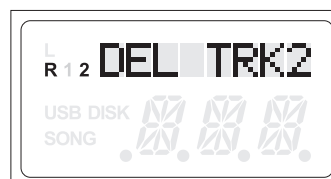
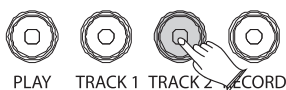
もう一度 [PLAY] ボタンを押して再生を停止します。



レコーディングデータの消去

[TRACK1] または [TRACK2] ボタンの LED が点灯した状態でボタンを 3 秒間押し続けることで、記録を消去することが可能です。

LCD ディスプレイに「DEL ●●●」と表示されたら消去完了です。(●●●=トラックナンバー)



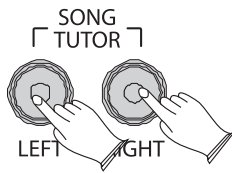
[PLAY] ボタンと [RECORD] ボタンを同時に押すと、全てのトラックデータを一括して消去できます。

■ 練習ソングの再生

本機器には練習ソングが 376 曲収録されています。これらのソングには、必要に応じてオンとオフを切り替えることができる独立した左右のパートがあり、対応するパートのみを練習することもできます。

練習ソングの選択

[LEFT] と [RIGHT] の両方のボタンを同時に押してソング・モードをオンにします。
ソング・バンクが LCD ディスプレイに表示されます。



ソング・バンクは全部で 6 種類あり、Playalon (55 曲)、Beyer (106 曲)、Czerny (100 曲)、Czerny (30 曲)、Czerny (40 曲)、SONATINE (45 曲) から選択可能です。

[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのソング・バンクを選んで [ENTER] ボタンを押します。

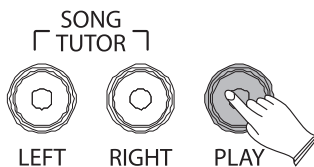
※3 秒間動作を行わないと、自動的に LCD ディスプレイに表示されているソング・バンクが選択されます。

ソング・バンクの選択が完了すると、LCD ディスプレイにソングナンバーが表示されます。

練習ソングを聴く

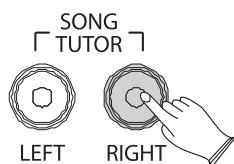
ソング [LEFT] と [RIGHT] ボタンの LED ランプが点灯した状態で、[+/-] ボタンまたは [DATA CONTROL] ノブで好みのソングナンバーを選択して、[PLAY] ボタンでソングを再生します。

もう一度 [PLAY] ボタンを押すと、ソングが停止します。



右手パートの練習

1. ソングモードで演奏中に [RIGHT] ボタンを押して LED ランプを消灯し、右手パートのトラックをミュートします。



2. 予め右手パートをミュートした状態でソングをスタートする場合は、[RIGHT] ボタンの LED ランプを消灯した状態で [PLAY] ボタンを押してソングを再生します。
3. 左手パートのみが再生されますので、右手パートを演奏します。
ソングを停止する場合は [PLAY] ボタンを押してください。

左手パートの練習

「右手パートの練習」の項目と同様の手順で、[LEFT] ボタンのオン・オフにて再生、ミュートをコントロールします。

【練習ソングモード中の操作について】

練習ソング再生中は音色の変更等のボタン動作ができなくなりますが、レコーディング機能を同時に使用可能です。

P.36 ページのソングレコーディングを参照してください。

※練習ソング再生中にレコーディングを行った場合、練習ソングの音色は録音されません。

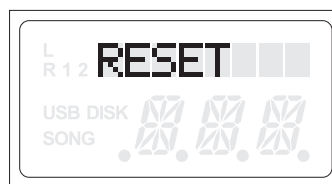
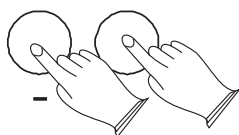
演奏したパートのみレコーディングされます。

■ ファクトリー リセット (工場出荷時の状態に戻す)

1. 電源がオフの状態からリセットを行うため、電源がオンの場合は [POWER] ボタンを押して電源をオフにします。



2. [+] と [-] ボタンを押しながら電源をオンにします。LCD ディスプレイに" RESET" と表示されたらファクトリーリセットが完了し、データは全て工場出荷時の状態に戻ります。



MIDI Implementation Chart

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1-16	1-16	*Up to 3 channels simultaneously
	Changed	1-16	1-16	
Mode	Default	Mode 3	Mode 3	
	Messages Altered	Yes *****	No No	
Note Number	True voice	0~127 *****	0~127	
Velocity Note	Note ON	Yes	Yes	
	Note OFF	Yes	Yes	
After Touch	Key's	No	No	
	Channels	No	No	
Pitch Bend		No	No	
Control Change		0-127	0,1,5,6,7,10,11, 32,64,65,66,67, 80,81,91,93,100, 101,121	
Program Change	True #	0-127 *****	0-15	16
System Exclusive		Yes*	Yes*	*The controller will recognize and respond to GM Device inquiries. Master Tune supported. Master Volume supported.
System Common	Song Position Pointer	No	No	
	Song Select	No	No	
	Tune Request	No	No	
System Real Time	Clock	No	No	
	Commands	No	No	
Aux Messages	All Sounds Off*	Yes	Yes	* The controller will respond to GM, but not piano voices.
	Reset All Controllers	Yes	Yes	
	Local ON/OFF*	Yes	Yes	
	ALL Notes OFF	Yes	Yes	
	Active Sensing	No	Yes	
System Reset	No	Yes		
Notes				

MIDI Channel Modes		
	POLY OFF	MONO ON
OMNI ON	Mode1	Mode3
OMNI OFF	Mode2	Mode4

■ PE-88 スペック

キーボード	88鍵盤 ウェイトド ヴェロシティ - センシティブィティキー
ディスプレイ	マルチファンクションLCD ディスプレイ
ポリフォニー	64
ボイス	137
ペダル	サスティン, ソステヌート, ソフト, その他ペダル
EQ	BASS[-1.2~+1.2]dB, TREBLE[-1.2~+1.2]dB
エフェクト	Reverb(8タイプ), Chorus(13タイプ)
スタイル	100
スタイル機能	Sychro start, Intro, Ending, Fill In, Variation, Accompaniment, Freeze, Volume, Metronome
コントロール	Split, Layer, Duet, Harmony, Tune, Transpose, Octave, 6Touch Sensitivity and Fixed touch Response
デモ	10デモソング, 376練習ソング
ソングパート機能	左手/右手パート
レコーディング	2トラックレコーディング
メモリー	4バンク - 5メモリー / 合計20メモリー
その他機能	ピッチベンド
接続端子	DC Power, Phones, Line OUT, MIC Vol, MIC, Aux In, SUS/SOS, SOFT(VOL), USB to Host
サイズ (W×D×H)	1270mm × 270mm × 80mm
重量	約9kg

アダプター仕様：
入力：100-240V - 50/60Hz 0.4A
出力：12V \equiv 1000mA 12W
センタープラス

A series of horizontal dashed lines for writing.

■ 保証規定・保証書

本保証は、保証期間中に本製品を保証するもので、消耗品または一部付属パーツ（譜面立てやボタンノブ等）は保証の対象になりません。保証期間内に本製品の保証該当箇所が故障した場合は、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 1.本保証書の有効期間はお買い上げ日より1ヵ年です。
- 2.次の修理等は保証期間内であっても有料となります。

- ・消耗部品（スピーカー、サスティンペダル等）の交換。
- ・天災（地震、火災、浸水等）によって生じた故障。
- ・お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
- ・故障の原因が本製品以外の製品に該当する場合。
- ・改造、パーツ交換などにより生じた故障または損傷。
- ・保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、お買い上げ明細が無い場合。

- 3.本保証書は日本国内使用においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

4.保証修理をご依頼いただく際は、販売店様へご連絡いただき、保証確認、お受付をお願いいたします。販売店様が移転された場合でも保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、移転された販売店様へご確認ください。

5.修理・検品のご依頼の際に発生する運送費用が高額になることがありますので、あらかじめ販売店様へご相談ください。

6.修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても行っておりません。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

保証修理・有償修理、いずれの場合も内容によってご対応に日数を要する場合があります。修理に要する日数によって生じる二次的損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

● 修理対応をご依頼いただく際について

1.保証書に販売店様による年月日等の記入がない場合は無効となります。インターネット通信販売でのご購入等、記入ができない場合は、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。

なお、保証がお受けできるのはファーストオーナー様のみです。中古品、オークションやフリーマーケットサイト等での個人間でのご購入品であることが発覚した場合は、保証対象外となります。

2.保証書は再発行致しません。大切に保管してください。

3.保証書は原本のみ有効です。コピーは無効となります。

保証書

● 保証期間

お買い上げ日より1ヵ年です。

● 保証期間中の修理のご依頼について

販売店様へご連絡いただき、修理のご依頼をお願いいたします。ご依頼の際は本保証書のご提示をお願いいたします。

● 保証期間及び期間経過後の修理対応について

修理することによって性能が維持できる場合は、お見積り後に有料で修理をさせていただきます。ただし、補修用の部品等の入手が困難な場合は、修理を受受することができません。修理について事前に詳細を確認される際は、販売店または弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

なお、保証期間経過後のお見積り及び修理は全て有償でのご対応となります。

● 修理期間について

修理する内容によってご対応期間が異なります。修理のご依頼の際に症状をお伝えいただき、おおよそのご対応期間についてご確認をお願いいたします。

ふりがな	男・女
お名前	年齢
ご住所(〒 -)	
電話 () -	
ご購入楽器店名(必ずお店のゴム印を頂いて下さい。)	
ご購入年月日 年 月 日	

販売元

artesia

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002
愛知県名古屋市中区栄山1丁目813番地
カスタマーサポート
E-MAIL: support@kyoritsu-group.co.jp

artesia

販売元

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002

愛知県名古屋市天白区焼山1丁目813番地

カスタマーサポート

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp